

ユリ(テッポウユリ・シンテッポウユリ)
Lilium longiflorum
 (ユリ科)

10月～6月に出荷される球根のテッポウユリと7月～10月に出荷される種子系のシンテッポウユリがあるが、同一のものとして扱ってよい。シンテッポウユリはタカサゴユリとテッポウユリの種間雑種。以前はタカサゴユリに似て、花が下向きに咲いたが、現在は改良により斜め上から上向きに咲く。両者とも蕾で出荷され、開花した小花が混じることはない。花色は白のみ。1茎当たりの小花数(輪数)は1輪から5輪程度。下から順次開花するが、開花せずに変色し、萎凋する蕾もある。葉の先端は褐変するが、葉全体が黄変することは少ない。水あげはよい。

日持ち終了の主な症状は、花弁の萎凋、褐変である。健全花が1輪以下で日持ち終了とする。

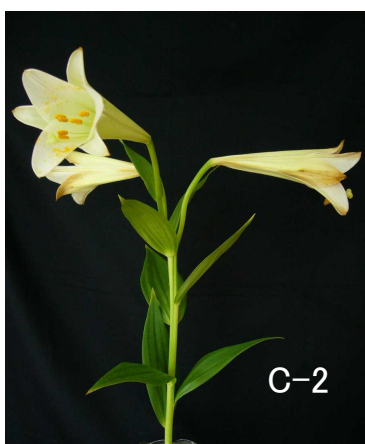
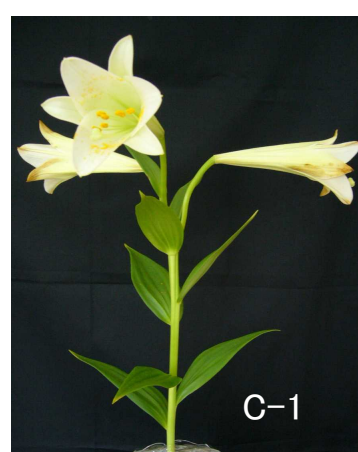
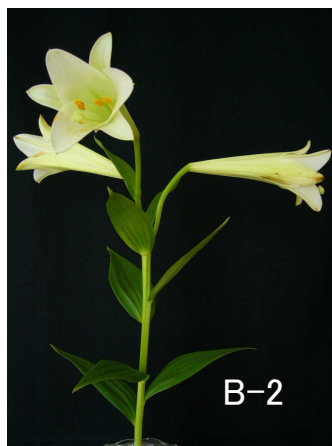
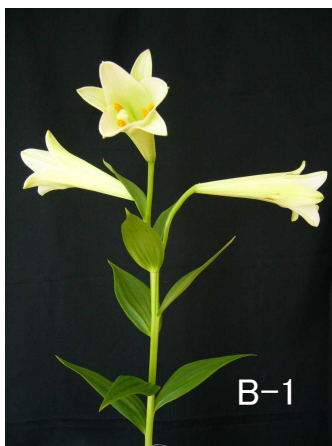
1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
花弁の褐変・萎凋	A: 発生がない B: 花弁先端のみが褐変 C: 花弁基部まで褐変 D: 全花弁が褐変, 花弁が落下することもある	
開花程度	A, B: A, Bの小花が3輪以上 C: A, Bの小花が2輪になる D: A, Bの小花が1輪以下になる	蕾が3輪以上の切り花を供試
葉の黄変	A: 黄変・褐変がない(緑色) B: 葉先が褐変 C: 葉全体がやや黄変 D: 葉が全体が黄変	葉の黄変が先行することは少ない
その他		

2) 留意点

蕾が3輪以上の切り花を用いる。
 葉は下1/3を取り除く。

3) 開花



4) チェック事項

